

自己点検結果報告書 変更箇所

【変更箇所 1】 p. 5 ハイペリオン社による波及効果調査結果を反映

※10/16 の第 8 回 WG での議論を踏まえ、数値を変更したものを文科省に提出済み。

(修正前)

以上、「京」が果たした貢献に関しては、研究センターが実施した「京」の波及効果の調査結果にも如実に現れており、先に述べた貢献を裏付ける結果に加え、「京」のもたらした経済的波及効果は、総収入 4,395 億円 (41.5 億ドル)、総利益 (コスト削減) 1,338 億円 (12.6 億ドル)、総影響 5,732 億円 (54.1 億ドル) にも上る。

(修正後)

以上、「京」が果たした貢献に関しては、研究センターが実施した「京」の波及効果の調査結果にも如実に現れており、先に述べた貢献を裏付ける結果に加え、「京」のもたらした経済的波及効果は、総収入 4,990 億円 (47.08 億ドル)、総利益 (コスト削減) 7,394 億円 (69.75 億ドル)、総影響 1 兆 2,384 億円 (116.83 億ドル) にも上る。

【変更箇所 2】 p. 28 「オールジャパン体制」の文言修正

(修正前)

このことは研究面だけでなく、HPC における研究コミュニティの形成、大学生や大学院生、若手研究者等の人材育成の推進、HPC に対する啓発活動、産業利用の促進等、研究分野の発展、利用者の拡大に関してオールジャパン体制で推進していることに他ならない。

(修正後)

このことは研究面だけでなく、HPC における研究コミュニティの形成、大学生や大学院生、若手研究者等の人材育成の推進、HPC に対する啓発活動、産業利用の促進等、研究分野の発展、利用者の拡大に関して HPCI コンソーシアムによるオールジャパン体制の原動力として機能していることに他ならない。

【修正箇所 3】 p. 44 「京」 利用料収入の修正

(修正前)

	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
利用料 収入 (円)	5,571,984	46,234,643	74,795,740	66,574,342	104,958,080	145,646,992	33,773,017	8,311,010

(修正後)

	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
利用料 収入 (円)	5,571,983	46,234,643	74,795,740	66,574,343	104,958,080	145,646,993	33,773,019	8,311,010

【修正箇所 4】 p. 46 「京」 の課題 文言追記

(修正前)

優れた成果をあげた「京」であるが、いくつかの点において課題が見出された。

(修正後)

優れた成果をあげた「京」であるが、**研究センターを中心に「京」の運用及び、絶えず高度化研究等を進めていくことによって、**いくつかの点において課題が見出された。

【修正箇所 5】 p. 69 「オールジャパン体制」の文言修正

(修正前)

「富岳」の利用者・利用分野の拡大、そのための利便性の向上は重要な課題である。研究センターでは、基盤センターやNIIなどにも参加してもらい、クラウド利用についてオールジャパン体制で対応している。

(修正後)

「富岳」の利用者・利用分野の拡大、そのための利便性の向上は重要な課題である。研究センターでは、基盤センターやNIIなどにも参加してもらい、クラウド利用について**広く関係機関との連携体制を構築して**対応している。